

第1学年 生活科学習指導案

指導者 ○○ ○○
○○ ○○

1 単元 「いろいろあるね にほんのあそび」

2 学習の構想

【このような子どもだから】

本学年の子どもは、生活科単元「なつとなかよし」の学習において、どのような材料が必要かを考え、身近にあるものを使ってしゃぼん玉や帆掛け船などを作って遊ぶ活動をしてきた。また、「あきとなかよし」の学習において、落ち葉やどんぐり、松ぼっくりなど、天仲寺公園（学校の近くの公園）で集めた身近な自然を利用しておもちゃを作り、遊び方を工夫しながら友達と遊ぶ活動を行ってきた。それらの活動を通して、自ら工夫して遊びを創り出そうとする姿が見られるようになってきた。しかし、遊びが上手にできないときは、友達と積極的に関わりながら楽しんだり、友達のよいところを真似して工夫したりすることができていない子どもの姿も見られる。

家庭での遊びについてのアンケート結果を見ると、既製品のゲームで遊ぶ子どもの割合が最も多く、昔遊びをして遊ぶ子どもの割合は20%であった。また、多くの子どもが昔遊びをした経験はあるが、遊び方を知らないものがあり、それらを一緒に遊んだ相手は両親や兄弟が多く、祖父母や地域の方と一緒に遊んだ経験がほとんどないことが分かった。

これらのことから、昔遊びをして遊ぶ経験や友達と関わり合いながら遊びを工夫したり練習を重ねたりする経験、遊びを通して祖父母や地域の方と触れ合ったりする経験が乏しいことが分かる。

【このような内容を】

本単元は、小学校学習指導要領解説生活科編に示されている内容「(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。」を中核に据えて設定した単元である。

「昔遊び」は、練習や遊び方の試行錯誤を繰り返すことで上達し、楽しさや面白さを見いだすことができる。また、友達と競い合ったり、力を合わせたりしながら遊ぶことで、更に楽しさを感じることができる。ここでは、「昔遊び名人になりたい」という思いや願いを基に、地域の方から遊び方やコツを教えてもらったり、友達と一緒に練習したりすることを通して、昔遊びの面白さや自分の成長、地域の方と関わることのよさに気付くことができるようにする。そして、友達や地域の方と一緒に楽しく工夫して遊ぼうとする態度を育成していく。

このことは、遊びを通して生活を豊かにしようとする態度を養う上でも大変意義深い。

【このような視点を意識して】

◎コミュニケーションを図る力 < A 人間関係形成・社会形成能力 >

◎自分を前向きにとらえる力 < B 自己理解・自己管理能力 >

◎見通しをもち、自分の考えをつくる力 < C 課題対応能力 >

◎学ぶこと・働くことの意義や自分の役割を理解する力 < D キャリアプランニング能力 >

【このような指導で】

本単元の指導にあたっては、昔遊びの面白さや自分の成長、地域の方と関わることのよさに気付き、友達や地域の方と一緒に楽しく工夫して遊ぼうとする態度を育てることができるようになる。

そのために、本時の指導にあたっては、まず、「つかむ・見通す」段階では、本時のめあてをつかむことができるように、昔遊びにおける自分の目標（できるようになりたいこと）をまとめたワークシートやこれまでの活動の様子が分かる写真等を基に、振り返る活動を設定する。

次に、「つくる・深める」段階では、自分の目標を達成することができるように、地域の方にコツを教えてもらったり、友達とアドバイスをし合ったりしながら、一緒に遊ぶ活動を設定する。

最後に、「振り返る」段階では、地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付くことができるように、視点を基に友達と感想を伝え合ったり、地域の方の話を聞いたりする活動を設定する。

【このような子どもに】

<単元の目標>

知識及び技能の基礎	昔遊びの面白さや自分の成長、地域の方と関わることのよさや楽しさに気付くことができる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	できるようになりたいことや地域の方に知りたいことを具体的に考えて尋ねたり、友達とアドバイスをし合ったりしながら遊ぶことができる。
学びに向かう力、人間性等	昔遊びに興味・関心をもち、地域の方にコツを教えてもらったり、友達と工夫して遊んだりしながら、進んで関わろうとする。

3 単元計画（全6時間）

A…人間関係形成・社会形成能力 B…自己理解・自己管理能力 C…課題対応能力 D…キャリアプランニング能力

次	時	主な学習活動	指導上の留意点（○）、評価規準と方法（◇）	視点
一	1	昔遊びに使う道具を知り、道具を手にとって遊ぶ。	○ 昔遊びに興味・関心をもつことができるように、遊んでみたい昔遊びの道具を選び、自由に試しながら遊ぶ活動を設定する。 ◇ 実際に昔遊びの道具を使い、試しながら遊んでいる。 【思考・判断・表現】《発言・行動》	B
	2	地域の方から昔の遊びを教えてもらい、名人になりたい遊びを決める。	○ 昔遊びの遊び方を知ることができるように、地域の方をGTとして招聘し、遊び方を紹介してもらう活動を設定する。 ○ 友達と関わり合いながら昔遊びをすることができるように、事前にGTと遊び方の打合せをしておく。 ○ 自分が名人になりたい昔遊びを決めることができるように、それぞれの昔遊びの楽しさや面白さを見つけるという視点を基に気付いたことを発表する活動を設定する。 ◇ 昔遊びを試しながら遊び、名人になりたい遊びを決めている。 【思考・判断・表現】《発言・ワークシート》	A
二	3	選んだ昔遊びを試し、困ったことやもっと上手になりたいことを見つける。	○ 名人になりたい昔遊びについて、自分の目標（できるようになりたいこと）を考えることができるように、GTが昔遊びをしている様子を映像で振り返ったり、何度も試して難しく感じたことをワークシートに記入したりする活動を設定する。 ○ 上手になったことやコツを共有することができるように、ワークシートに書きためているコツを伝え合う活動を設定する。 ◇ 昔遊びで上手になりたいことを見つけ、自分の目標を決めている。 【思考・判断・表現】《ワークシート・観察》	C
	4 （本時）	地域の方に遊び方のコツを教えてもらったり、友達とアドバイスをし合ったりしながら、昔遊びをする。	○ 地域の方に知りたいことを尋ねたり、コツを教えてもらったりすることができるように、前時までのワークシートを用いて自分の目標（できるようになりたいこと）を伝える活動を設定する。 ○ 地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付くことができるように、事前にGTと以下の内容を打合せておく。 【活動中】・子どもの知りたいことを基に、コツを教える。 ・できた子ども、がんばった子どもにシールを貼る。 【活動後】・成長したところ、上達したところを称賛する。 ◇ 地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付いている。 【知識・技能】《行動・発言・ワークシート》	A・C
三	5	自分ができるようになった昔遊びを発表する。	○ 自分の成長を実感することができるように、ワークシートを基に、工夫した遊び方やできるようになったことを発表し、称賛し合う活動を設定する。 ◇ できるようになったことやがんばったことを発表している。 【知識・技能】《発言・行動》	B・D
四	6	これまでの学習を振り返り、お世話になった地域の方へお礼の手紙を書く。	○ 昔遊びの面白さや自分の成長、地域の方と関わることのよさを実感することができるように、これまでの活動の様子が分かる写真等を基に振り返る活動を設定する。 ○ お礼の手紙を書く見通しをもつことができるように、地域の方や友達と一緒に練習をしてうれしかったことやできるようになったこと、これからもやってみようについて交流する活動を設定する。 ◇ 自分の成長に気づき、地域の方のおかげで上手になったことに感謝の気持ちを持ち、その気持ちを手紙に書こうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】《手紙・発言》	A・B

(1) 主眼

地域の方に昔遊びのこつを教えてもらったり、友達とアドバイスし合ったりしながら楽しく遊ぶ活動を通して、地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付くことができるようにする。

(2) 本時で意識するキャリア教育の視点

意識する視点	意識する視点の具体
A 人間関係形成・社会形成能力	○ 適切な挨拶や言葉遣いで地域の方に昔遊びがもっとうまくなるための方法を尋ねたり、こつを教えてもらったりすることができる。
C 課題対応能力	○ 昔遊びの活動を通して、自分の目標(できるようになりたいこと)を設定し、どうしたらより上手になるかを考えたり、GTへ尋ねたりして、目標を達成するための見通しをもつことができる。

(3) 準備

前時までの取組の写真、昔遊びの道具、ワークシート、TV、パソコン、シール
地域の方のネームプレート

(4) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点(○)と評価規準(◇) 意識するキャリア教育の視点(<>)と手だて(◎)
つかむ	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題とめあてをつかむ。</p> <p>(1) 遊びの内容と自分が知りたいことやできるようになりたいことを振り返る。</p> <p>(2) 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ぼくは、おてだまを選んだよ。お手玉のゆり玉が上手にできるようになって、友達と楽しく遊びたいな。 </div>	<p>○ 地域の方に教えてもらった昔遊びを想起することができるように、前時までの活動の様子が分かる写真等を掲示しておく。</p> <p>◎ 子どもの思いや願いを高め、本時の学習のめあてをつかむことができるように、自分の目標(できるようになりたいこと)をまとめたワークシートを見て振り返る活動を設定する。 <C 課題対応能力></p>
見通す	<p>2 名人になるために大事なことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・名人になるためには、寿会の人に、こつを聞いたらいと思う。 ・友達と一緒に試したり、練習したりしたらよいと思う。 ・友達にこつを教えてもらったらよいと思う。 </div>	<p>○ 自分の目標(できるようになりたいこと)を達成するための方法を知ることができるように、地域の方にこつを教えてもらったり、友達とアドバイスをし合ったりするとよいことを確認する。</p> <p>◎ 適切な挨拶や言葉遣いで地域の方と関わることができるように、教師が関わり方のモデルを示す。 <A 人間関係形成・社会形成能力></p>
つくる・深める	<p>3 グループに分かれて、自分のめあてに向かって楽しく遊ぶ。</p> <p>(1) 活動の手順を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【きょうの学しゅう】</p> <p>①ひとつめのおてだま シールをはってもらおう</p> <p>②ふたつめのおてだま シールをはってもらおう</p> <p>③ふりかえり</p> <p>④ことぶきかいのかたからのおはなし</p> </div>	<p>○ 話すことが苦手な子どもが自信をもって自分の考えを伝えることができるように、名前や目標を書いたワークシートを首から下げて可視化しておく。</p>

(2) 6つの遊びの中から自分が選んだ昔遊びのこつをGTに尋ねたり、友達と一緒に繰り返し試したりする。

6つの遊び

おてだま、けんだま、あやとり、めんこ、こま、おはじき

○ できるようになったことや頑張ったことを実感することができるように、ワークシートにGTや友達からシールを貼ってもらう場を設定する。

【昔遊び：「おてだま」を選んだ子どもの例】

ぼくの名前は、「〇〇 〇〇」です。よろしくお願いします。
ぼくの目標は、「おてだまで、ゆり玉をするとき、落とさずにできるようになること」です。
おてだまのゆり玉のとき、取るのが難しいです。どうすれば上手にできるか、こつを教えてください。



上手にするためのこつは、「取ったら、落とす」という感覚だよ。そうするとうまくいくよ。やってみるから、見ていてね。(実演)



すごいな。「取ったら、落とす」なんですね。やってみます。



上手、上手。そんな感じだよ。何回も練習したり、友達と一緒に遊んだりすると、もっと上手になるよ。

うまくできそうです。目標を達成できるように、友達と一緒に練習します。ありがとうございました。



◎ 地域の方と関わりながら活動することのよさや楽しさに気付くことができるように、適切な挨拶や言葉遣いの確認やコミュニケーションを図るための支援をする。

＜A 人間関係形成・社会形成能力＞

振り返る

4 本時の学習の振り返りをする。

(1) 感じたことや気付いたことを伝え合い、学習の振り返りをする。

・ぼくは、こまが上手に回すことができなかったけれど、〇〇さんが優しくこつを教えてくれて、できるようになったのでうれしかったです。
・わたしは、おてだまが楽しかったです。わけは、友達と一緒に「げんこつやまのたぬきさん」をして、できるようになったからです。

(2) GTの話聞く。

◎ 地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付くことができるように、振り返りの視点（楽しい・うれしい・やさしい・すごい）を示し、それを選んだ理由をワークシートにまとめ、発表する活動を設定する。

＜C 課題対応能力＞

◇ 地域の方の素晴らしさや優しさ、自分の成長に気付いている。

【知識・技能】《観察・発言・ワークシート》

○ 今後の活動への意欲を高めることができるように、成長したところや上達したところを評価してもらう場を設定する。